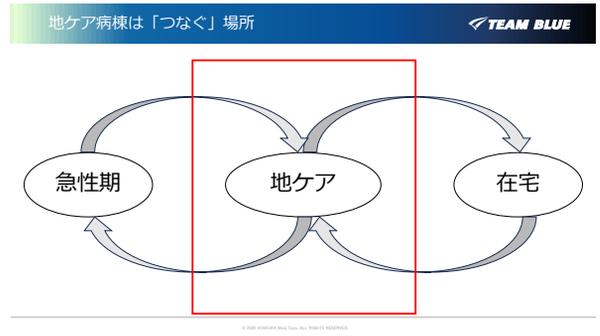


「医療」と「暮らし」が交差する場としての地域包括ケア病棟
 ～超高齢社会だから広がる 在宅療養支援病院の可能性～

日本在宅療養支援病院連絡協議会 第5回講演会
 2024.12.3

TEAM BLUE 「おうちにかえろう。病院」 水野 慎大

1



2

本日の内容

TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

3

医療法人社団 焰の概要

TEAM BLUE

開設：2013年4月1日（やまと診療所開設）
 所在地：東京都板橋区東新町/大原町
 スタッフ数：約400名(法人全体)
 … 常勤医 18名、非常勤医 37名
 看護師 62名、リハビリ士 22名
 在宅医療PA 44名、相談員 14名
 薬剤師 3名、管理栄養士 3名、検査技師 1名
 在宅診療中の患者数：約1,200名
 自宅看取り患者数：約500名/年

4

法人理念

TEAM BLUE

自宅で自分らしく死ぬる
 そういう世の中をつくる

5

現在の事業体

TEAM BLUE

おうち事業
 おうちでよかった。訪看
 おうちにかえろう。病院

やまと事業
 やまと診療所

ごはん事業
 ごはんがたべたい。歯科

6

やまと診療所 自宅看取り数

東京都

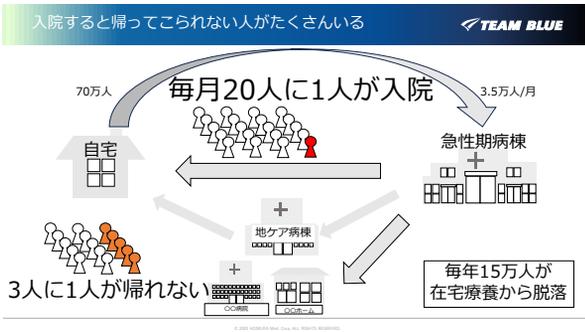
医療機関名	所在地	診療科目	医師数	看護師数
1 やまと診療所	板橋区	496	477	19
2 わたクリニック	板橋区	370	359	11
3 かわいクリニック	大田区	312	302	10
4 やよい在宅クリニック	文京区	276	215	61
5 立川在宅ケアクリニック	立川市	247	238	9
6 わたクリニック船橋	江戸川区	230	228	2
7 しろひげ在宅診療所	江戸川区	228	220	8
8 ひなた在宅クリニック山王	品川区	219	171	48
9 新宿ヒロクリニック	新宿区	213	190	23
10 うえまつ在宅クリニック	駒江市	201	176	25

週刊朝日ムック
『さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん2024年版 在宅医療ガイド』

7

- 本日の内容
1. 法人紹介
 2. 在宅屋が病院をつくった理由
 3. 地域包括ケア病棟だからできること
 4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
 5. 迷っている人たちと向き合う ~意思決定支援の主戦場として~
 6. 「一緒に考える」ための空間づくり
 7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
 8. 患者と家族の思いを「つなぐ」入づくり

8



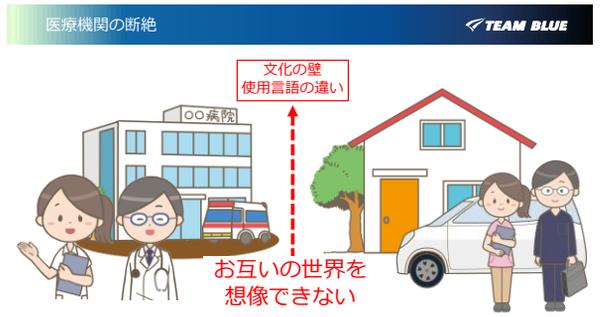
9



10



11



12

医療者と患者の断絶

TEAM BLUE



医療者 : 日常 ゴール 非日常

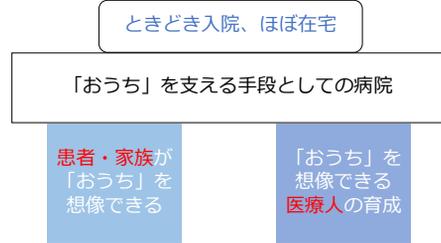
患者 : 非日常 スタート 日常

見ている世界の解釈が違う
物語の共有が難しい

13

つなぎ役の地ケア病棟だからできること

TEAM BLUE



14

本日の内容

TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

15

急性期医療と在宅医療の橋渡しが不足している

TEAM BLUE

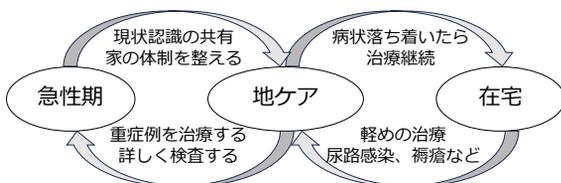
- 急性期医療と在宅医療を俯瞰できる医療人材の不足
⇒そういう医療人材を育成すればよい
- 急性期医療と在宅医療がお互いのことを知らない（知ろうとしない）
⇒お互いのことを知ろうとすればよい
- 急性期医療と在宅医療が患者にとって隔絶した存在になっている
⇒患者や家族にとってのギャップを小さくすればよい

地域包括ケア病棟が担う役割

16

地域包括ケア病棟だから間をつなげる

TEAM BLUE



17

本日の内容

TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

18

人生の物語
命と暮らし
思い

19

© 2024 HOKKAIDO HANA CLINICAL ALL RIGHTS RESERVED.

- 90歳 女性
- パーキンソン病 30年前に診断
- 長男が自宅で介護を続けていた
- 本人が嫌がるのでショートステイは使ったことがなかった
- 長男は20年前に介護休暇をとり、2年後に退職

20

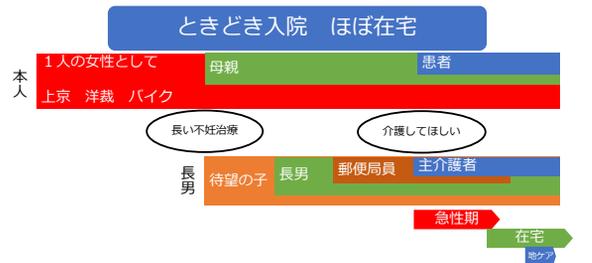
© 2024 HOKKAIDO HANA CLINICAL ALL RIGHTS RESERVED.

1か月後 自宅で逝去

「定期的にレスパイトできたからやり遂げられた。」

21

© 2024 HOKKAIDO HANA CLINICAL ALL RIGHTS RESERVED.



22

© 2024 HOKKAIDO HANA CLINICAL ALL RIGHTS RESERVED.

- 93歳 男性
- 認知症
- 第5波でCOVID-19肺炎に罹患
- 近医入院してnasal high flowで加療
- 経鼻胃管留置、ミトン装着で9月中旬に当院転院

23

© 2024 HOKKAIDO HANA CLINICAL ALL RIGHTS RESERVED.

- 83歳 女性
- 筋萎縮性側索硬化症
- 元郵便局員 退職後は障害者福祉のボランティア
- 1年前に手に力が入りにくくなった。
- 3か月前に大学病院で精査してALSと診断され、胃瘻を造設された。
- 胃瘻の手技獲得と、今後の療養方針を決めるために当院に転院した。

24

© 2024 HOKKAIDO HANA CLINICAL ALL RIGHTS RESERVED.

3) 思いをつなぐ

TEAM BLUE

CO2ナルコーシス発症

急遽退院して自宅で逝去

夫は本人の思い出話を花を咲かせながら振り返り

(在宅療養支援病院の訪問診療として看取り)

© 2024 HONDA HAI Care. All Rights Reserved.

25

地域包括ケア病棟が活躍できる患者

TEAM BLUE

褥瘡
繰り返す誤嚥性肺炎
尿路感染症
予後の短い癌末期
高齢者の脱水
熱中症
圧迫骨折どうしよう…、と思っている人
不安だな、と思っている人
家族によって意見が違う人
優柔不断な人
思いとキャパに乖離がある人
チャレンジしたい人
可能性を探りたい人

© 2024 HONDA HAI Care. All Rights Reserved.

26

本日の内容

TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

© 2024 HONDA HAI Care. All Rights Reserved.

27

迷ったときにどうやって決める？

TEAM BLUE

自分で考える

誰かに相談する

© 2024 HONDA HAI Care. All Rights Reserved.

28

自分で考える

TEAM BLUE

今の自分はどのような状況だろう？

これまで何をやってきたっけ？

これから何をしたいかな？

何を優先しよう？

現在
↓
過去
↓
未来

© 2024 HONDA HAI Care. All Rights Reserved.

29

TEAM BLUE

過去を思い出せば

未来の解が見えてくる

(ことが多い)

© 2024 HONDA HAI Care. All Rights Reserved.

30

迷ったときにどうやって決める？

TEAM BLUE

自分で考える

誰かに相談する

31

誰かに相談する

TEAM BLUE



Shared Decision Making (SDM)

- 医療者が医学的情報を教える
 - 患者が自分の価値観を教える
- ⇒ **教え合っ**て一緒に決める

32

病院で患者が「教える」ことは難しい

TEAM BLUE



医療者 : 主 客

患者 : 客 主

医療者の働きかけが必要

33

人生の分岐点で「一緒に考える」相手になる

TEAM BLUE



34

本日の内容

TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

35

「一緒に考える」ための空間コンセプト

TEAM BLUE

「曖昧」であること

- 職種 : 白衣・ナース服なし 好きな襟付きシャツで勤務
- 役割 : 誰の仕事? ➡ 皆ができる仕事
- 使い方 : ナースステーション ➡ スタッフも患者も家族も利用
- 「内」と「外」 : グラデーションで何となく使い分ける
「関係者以外立ち入り禁止」は原則禁止

36

「つながる」空間作り TEAM BLUE



2021.4.1 開院 120床 (全床 地域包括ケア病棟)

37

地域とつながる1階フロア TEAM BLUE



38

患者、家族、職員がつながる病棟 TEAM BLUE



39

病院と在宅がつながるスタッフスペース TEAM BLUE



40

たくさんの人と「一緒に考える」 TEAM BLUE



41

TEAM BLUE

立場・職種を越えて、「人」と「人」として交わることで、「患者」ではなく、「人」としての自分の姿を思い出す



42

本日の内容

TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

43

患者にとってどんな場所？

TEAM BLUE

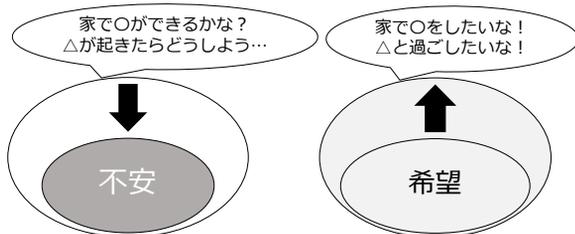
「できない」で一杯だった人が
「できる」を見つめて
ふたたび歩き出すきっかけとなる場所



44

不安はゼロにはならない前提で考える

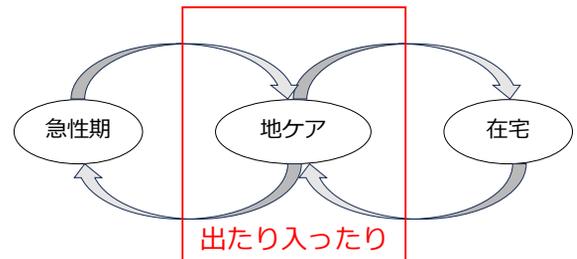
TEAM BLUE



45

地ケア病棟は「出たり入ったり」が役割

TEAM BLUE



46

質が高いとは おうちに帰る割合が高いこと？

TEAM BLUE

自宅復帰が決まっているケースだけ受けければ在宅復帰率は100%

在宅復帰率100%が目標ではない

この病院は何のためにあるのか？

47

質の高い地域包括ケア病棟とは

TEAM BLUE

出入りしやすく

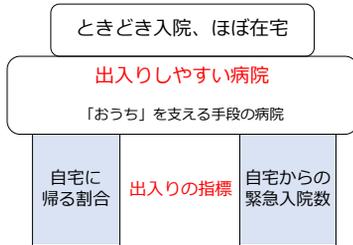
「ときどき入院、ほぼ在宅」

を支えられる病棟

48

「おうち」に帰る手段としての地ケア病棟

TEAM BLUE



49

患者の物語を話し合う ～病棟カンファレンス～

TEAM BLUE

- どんな状態か どんな人生を生きてきたのか どんな性格か
- 各職種の担当者が専門分野の目線で患者を把握
- 今の患者に誰がアプローチするのが最適化を決めて意思決定に関わる (時に看護師、時にセラピスト、時に相談員)

「どんな人か？」をテーマの中心に据える

50

価値観を共有することで見ていくこと

TEAM BLUE



51

本日の内容

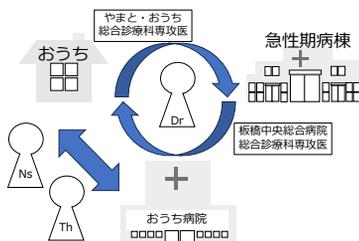
TEAM BLUE

1. 法人紹介
2. 在宅屋が病院をつくった理由
3. 地域包括ケア病棟だからできること
4. 地域包括ケア病棟の3つの「つなぐ」
5. 迷っている人たちと向き合う ～意思決定支援の主戦場として～
6. 「一緒に考える」ための空間づくり
7. 患者と家族の思いを「つなぐ」病院づくり
8. 患者と家族の思いを「つなぐ」人づくり

52

出入りしながら育つ医療人

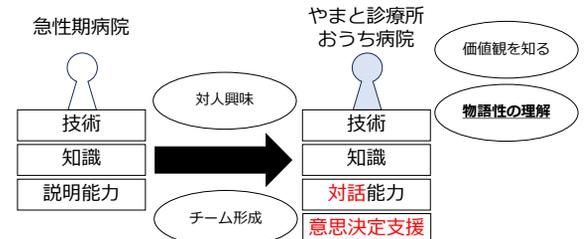
TEAM BLUE



53

育成を目指す医師像

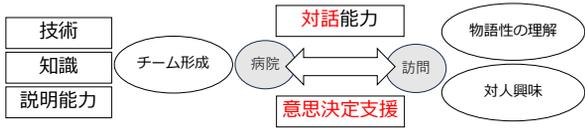
TEAM BLUE



54

看護師の循環プログラム TEAM BLUE

病棟勤務と訪問看護勤務のローテーション（3か月～半年）
 病棟と訪問看護のかけもち（3日訪看、2日病棟/週）
 病棟看護師の訪問看護同行
 訪問を研修の中に組み込む



55

文理融合が求められる総合診療と在宅医療 TEAM BLUE

理：正しさを追求する 「命」を守る
 文：正解がないことを考える 「暮らし」を守る

急性期医療機関 慢性期病院 外来医療 訪問診療
 研究・教育機関

1人前	在宅専門医プログラム	「命」と「暮らし」を 出入りする
後期	総合診療科専門研修プログラム	「命」を学んで 「暮らし」を想像する

56

文系要素を理論的に学べるAHC TEAM BLUE

Academy of Home Care (AHC)

知識獲得 1) 半日/週 座学 2) 専門医から指導	現場の実践 1) 訪問診療に出る 2) 訪問前後に指導医と予習復習	見て学べ？ 経験積めば上手になる？ 年をとれば分かるよ？ 人生経験は大事だよ？
----------------------------------	---	--

57

一緒に考える人を育てる「ACPマイスター養成講座」 TEAM BLUE

ACPマイスター養成講座
2023年11月開講 第一期生募集!

58

コミュニケーションを手段として活かすための書籍出版 TEAM BLUE

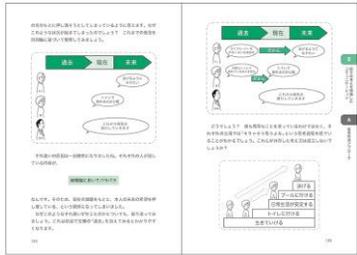
- 典型的なコミュニケーションエラーのケースを例示
- 問題の背景を図解
- 落とし穴と打開策を提示

59

文系要素も理論的に学べる（はず） TEAM BLUE

60

文系要素も理論的に学べる (はず) TEAM BLUE



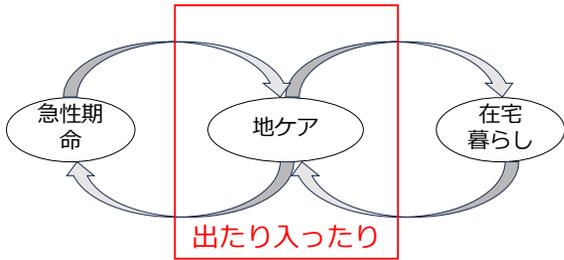
61

TEAM BLUEの目指す世の中 TEAM BLUE

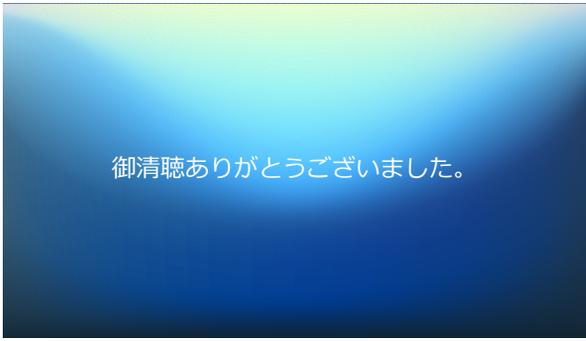
最期まで 自宅で 地域で
「非」健康寿命を安心して生きてもらう

62

地ケア病棟は「つなぐ」場所 TEAM BLUE



63



64